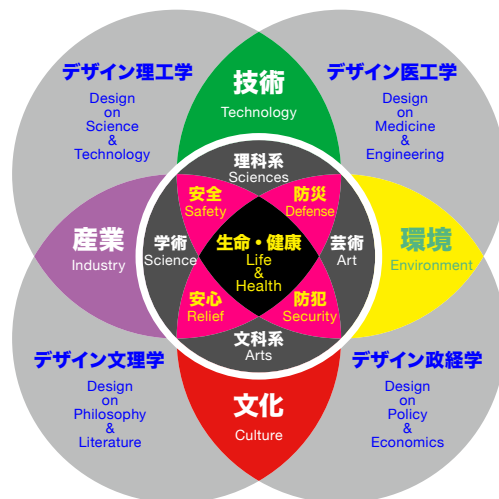


Information and Guidelines

「コンシリエンスデザイン看医工学寄附講座」のご案内

- 現在、「デザイン思考」Design Thinkingブームですが、イノベーション＝技術革新(和訳の間違い)という米国からの思潮は「経営論」にすぎません。このブーム化では真のデザインは未だに発展事例は起こっていないでしょう。
- そこで、鉱山学者だったWilliam Whewell(1794-1866)は「分断し専門家する学者はすべからず博物学に精通すべき」と考え、そこからScientist(科学者)やPhysician(医師)を造語としたごとく、理科系+文科系を融合した学術全体を「Consilience」としました。
- この造語をベースに、ハーバード大名誉教授 昆虫学者Edward Osborne Wilson(1929-)は社会生物学から広範囲な学術+芸術を統合するためにConsilience理論を展開しました。その内容は、「知の挑戦」という著書にまとめられています。
- この脈絡から、学者であり実務家デザイナーでもある川崎和男は、文科系+理科系、学術系+芸術系の融合と統合によって、「問題解決・価値創出・未来創成」が「コンシリエンスデザイン」になるという実務デザイン手法と実際事例を提案しています。



◆ 講演テーマ例(事例紹介)

・講演回数は2回・3回・4回等、ご希望にお応えできます

回数	テーマ	内容	領域
1	企業および組織の戦略・戦術としてのコンシリエンスデザイン	形態設計・制度設計(B2C・B2B・B2G)の基本論の意義意味論	戦略戦術論
2	ロボット基礎学としてのデザイン AI・AR・IoT・Big Data・CS	AI・AR・ロボット・アンドロイドとコンシリエンスデザイン	人工知能論

回数	テーマ	内容	領域
1	コンシリエンスデザインの意味	問題提起と形態設計・制度設計・モノ・コトのデザイン	問題解決論
2	コンシリエンスデザインにおける新しいイノベーション手法の確立	革新性の構築 イノベーションのコンシリエンスデザイン	価値創出論
3	コンシリエンスデザインとAI・AR・IoT・Big Data・CS	AI・AR・ロボット・アンドロイドとコンシリエンスデザイン	人工知能論

回数	テーマ	内容	領域
1	企業および組織の戦略・戦術としてのコンシリエンスデザイン	形態設計・制度設計(B2C・B2B・B2G)の基本論の意義意味論	戦略戦術論
2	新しいイノベーションとしてのコンシリエンスデザイン	未来革新としての遺伝子革命・電磁波革命・光重合革命	デザイン経営論
3	情報論としてのデザイン AI・AR・IoT・Big Data・CS	AI・AR・ロボット・アンドロイドとコンシリエンスデザイン	人工知能論
4	環境情報としてのデザイン実務 安全・安心・信用・信頼・宇宙論からの危機デザイン	クライシス & リスク対応論によるガバナンスデザイン	価値創出論

● 40数年間での製品開発・商品展開の実務成功事例のプロセス・エソノメソドロジー紹介 ● 製品記号論としての「造形記号」と「形態記号」=コンシリエンスデザイン
2017年度「コンシリエンスデザイン看医工学寄附講座」Syllabus:シラバス
(大阪大学大学院正規のものからの抜粋)

◆ 招聘教授

- ・長谷川 秀夫, Dr. Hideo Hasegawa
信頼安全性工学による宇宙工学者(元JAXA)
- ・濱口 秀司, Hideshi Hamaguchi
monogoto, CEO, Business Designer, ziba design, Executive Fellow
デザインエンジニアリングにおける国内外コンサルタントの第一人者
- ・金明錫, 김명석, Dr. Kim Myung Suk
Emeritus Professor, Korea Advanced Institute of Science and Technology
環境デザインとしてのロボットを専門にされているKAISTの名誉教授
- ・山田 國廣, Dr. Kunihiro Yamada
京都精華大学 名誉教授・エコロジスト

◆ お問い合わせ

- 製品化や商品展開に関するご相談
- 講演や取材、セミナーのご依頼・各対価のご相談
- 寄附講座・共同研究のご支援

・連絡窓口 担当: 船山俊克
e-mail : funayama@sahs.med.osaka-u.ac.jp
URL : www.kazuokawasaki.jp



大阪大学大学院・医学系研究科コンシリエンスデザイン看医工学寄附講座

危機解決産業創成デザイン重要拠点
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1 U4棟
Tel : 06-6877-8637 / Fax : 06-6878-8593
e-mail : funayama@sahs.med.osaka-u.ac.jp

